

θステージ 偏心・面振れ・回転軸の振れ

カタログ値の「偏心」は回転テーブル中心穴内径に電気マイクロメーターを当て計測しているため、計測時に穴の加工精度が含まれ「回転軸の偏心」とは意味合いが若干異なります。回転軸の振れは、テーブル中心に設置した真球を基準にすることで測定可能となります。

また、カタログ値の「面振れ」は、回転テーブルの上面外周部に電気マイクロメーターをあて測定しているためテーブル面の加工精度が含まれ「軸ブレ(角度)」とは異なります。「軸ブレ(角度)」はテーブル面にミラーを設置しオートコリメーターで回転軸の角度変化を測定します。

高精度な回転は、工業用 X 線 CT や各種分析・計測装置において、精密な測定に貢献します。

ステージタイプ

・自動θステージ : RA16A-WH01

アンギュラベアリング / ウォーム駆動



RA16A-WH01

測定概要

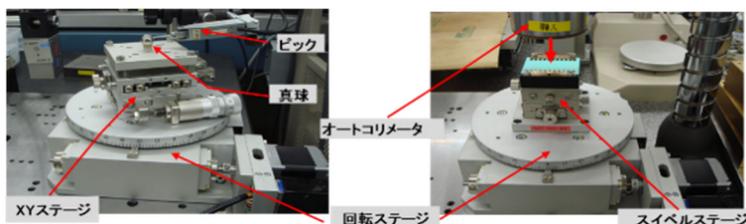
偏心(真球)

: テーブル面に真球を設置し、電気マイクロメーターで変位量を測定。

軸振れ(角度)

: テーブル面にミラーを設置しオートコリメーターで傾き角を測定。

-170deg~+170degの範囲を 5deg ピッチで 3 往復測定する



測定機器

軸振れ(ラジアル方向): 電気マイクロメーター (Marl 社製 Millitron 1240 + 1318)

軸振れ(角度): 光電式オートコリメータ (Moller-Wedel Optical 社製 ELCOMAT 3000)

測定結果

